



さくらやまぶ

2024年11月1日現在

世帯数	: 5,558戸
男	: 5,753人
女	: 6,172人
計	: 11,925人



令和6年 11月2(土)・3(日) 第50回 里山辺地区文化祭が 開催されました!

各町会から名作の展示や、サークル活動の発表の場として、6団体に出演していただきました!大盛況で、文化の日に相応しい日になりました!

PTA見直し
影響がある可能性を訴えました。



令和6年10月24日(木)に市長をお呼びして「ジモトで座談会」が里山辺公民館で行われました。

座談会では、地域の課題として鳥獣害対策とPTAのあり方見直しにおける個人情報取り扱い、里山辺の魅力発信について意見交換が行われました。

鳥獣害対策について、町会連合会の成田会長から発表がありました。松枯れによる倒木から防護柵が破損し、鹿等による農作物への被害、生活や子どもたちに影響がある可能性を訴えました。

市長座談会

私たちの町会では、例年、初秋に氏神様の祭りが行われます。小さな社です。

鳥居の近くには、この社(白山大権現神社)の起源等の書かれた立札が立っています(里山辺地区まちづくり協議会による)。

今年は、九月七日が宵祭り。小学校子ども会・育成

わが町紹介

【里山辺町会】
「氏神様の祭り」

山辺ワイナリー



里山辺の魅力について、里山辺公民館長の小幡館長からお船祭りについて、発表がありました。

歴史が古く、その思いを繋いでいくことが重要と熱く語りました。

また、追分屋旅館の花岡社長より、醸造しているワインの観光資源化について説明がありました。

懇談会に移ると、前述の追分屋旅館から赤・白ワインと山辺ワイナ

会が中心となって船蔵からお船を出し飾り付け、夕方には子ども会によるお囃子で宵祭りが始まりました。参道には子ども会の皆が描いた灯笼が置かれ、暗くなる頃に灯が入り、神社までの道案内をしてくれます。多くの町会の方がお参りに登って来ます。

八日の本祭りでは、子ども会や参拝者でお



と想います。



リーからブドウジュースの提供がありました。喉を潤しながら、参加者の方々から今回のテーマについてご意見をいただき、魅力発信の話の際には、お祭り関係者として小学校の生徒にも発言いただきました。

市長からは、「いくつか意見をいただいたなかで、100%ご要望にお応えすることはできないが、一歩一歩前に進めていきたい」と、前向きな総括を頂戴しました。

ジモトの意見を話すことができた貴重な場であったと思います。

船を境内に曳き上げ、神事の中で子ども会の皆もお祓いを受け、お船は大勢に曳かれ参道を下りました。

※お船について「春に行なわれる須々岐水神社大祭のお船によく似ている。車輪の部分が大八車、木造二階造りの質素な山車。」(写真参照)

藤井町会公民館長 早川千芳



スポーツ大会結果

令和6年10月13日(日)に市民スポーツ大会がありました。
 里山辺地区は全競技参加し、結果は総合優勝を6年振りに果たすことができました！

結果は次のとおりとなります。

- 軟式野球：3位
 - ソフトバレー (フリーの部)：5位 (T180の部)：Aブロック優勝
 - マレットゴルフ：男子10位・女子5位
 - ゲートボール：2位
 - 卓球：3位
- 参加された選手の皆様、そして熱い応援をいただいた皆様、大変お疲れ様でした！

令和6年11月4日(月)には市長杯争奪球技大会が開催されました。軟式野球及びママさんバレーボールはブロック予選を勝ち上がり参加。ほかの競技も市民スポーツ大会の結果、全競技参加となりました。

結果は次のとおりとなります。

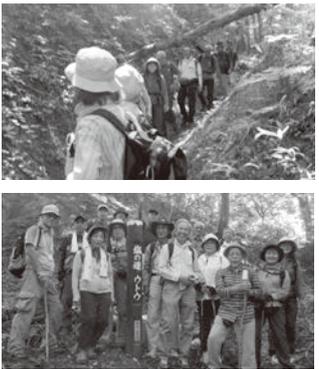
- 軟式野球：3位
 - ソフトバレー：優勝
 - マレットゴルフ：15位
 - ゲートボール：2位
 - 卓球：優勝
 - ママさんバレーボール 初戦敗退
- 参加された選手の皆様、そして熱い応援をいただいた皆様、大変お疲れ様でした！



「中山峠越え」 牛方も見た 中山峠から日本海を望む

第8回塩の道ウォークが、9月9日初秋とは言え残暑が厳しい中行われました。中山峠は塩の道の起点でもある糸魚川に最も近い峠。松本を発った牛方が終着地糸魚川に入る最後の峠で、ここまで来ると遠くに日本海が見える峠。根知農村公園から塩の道入口までバスで進み、うっそうと杉の大木が林立する林に入ると、左右の山肌をU字に削ったのではないかと思うような景観が続きます。これが『ウトウ』と呼ばれるものです。そのウトウを一列に進むと、傾斜の先が『中山峠』です。今は雑木に覆われ日本海は見渡せませんが、往時はこの峠から日本海が見渡せました。

急な山道を下ると大野集落に出ました。額から流れる汗を拭きながらようやく終着地の十王堂に到着しました。



町内公民館長と里山辺公民館 合同研修会

9月24日、町内公民館長会と里山辺公民館との合同研修が行われました。今回は信濃と遠州をつなぐ秋葉街道にスポットを当てました。この秋葉街道は南の塩の道とも呼ばれ、遠州の塩を塩尻まで運んできたルートです。目的地は下伊那の遠山郷と下栗の里で、ここは国の重要無形民俗文化財にも指定されている『霜月まつり』で有名な所です。まず、和田城と龍淵寺を見学しました。

次は天空の里『下栗』。ここは日本の原風景が残る山里で、『日本の里百選』の一つ。狭いな段々畑に作物を育て、農業と林業で生活している集落です。下栗の里を見下ろせるビューポイントまで歩くと、眼下に広がる下栗の里は正に『天空の里』でした。今回の研修では、遠山郷の歴史と文化に触れる研修となりました。



わいわいファーム 大収穫祭と焼き芋会

令和6年9月28日にわいわいファーム大収穫祭を行いました。ここまで育ててきたジャガイモやマジン、枝豆と、お米を使い、カレーにして食べました。

4月に発足したわいわいファームですが、月に1回集まり、貴重な農業体験をすることができました。実施したアンケートでも「田植えが楽しかった」「来年も参加したい!」との声が多くあり、実施して良かったと思えました。

10月27日に最後のわいわいファーム事業の焼き芋会がありました。ほくほくのサツマイモを晴れ渡る空の下でおいしく食べました。

今年度のわいわいファームは終了しましたが、来年度も計画予定ですので、奮ってご応募ください。参加者の皆様、そしてお手伝いいただいた皆様、ありがとうございました!

